

## メキシコ国立自治大学社会学研究所

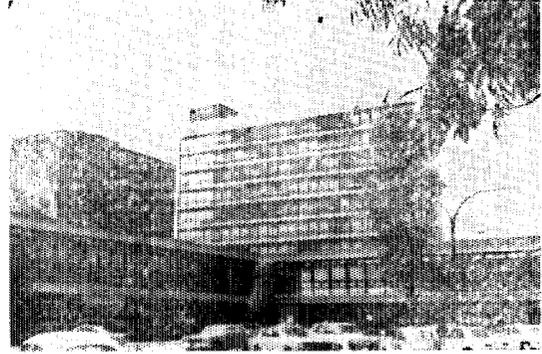
Instituto de Investigaciones Sociales, Universidad Nacional Autónoma de México

メキシコ市の南の郊外にあるメキシコ国立自治大学のキャンパスは近代建築と華麗な壁画、それに豊かな緑地が組み合わされて大学都市(Ciudad Universitaria)の名にふさわしい美観を呈しているが、その中央部に近く、民族の歴史と革命を描いたオゴルマンの壁画で名高い中央図書館(Biblioteca Central)がある。そのすぐわきに文学・哲学部の建物に続いて新しい鉄筋コンクリート8階建ての人文科学館(Torre de Humanidades)があり、その5階を社会学研究所が占めている。

メキシコ国立自治大学には15の学部(Facultad 7, Escuela 8, 大学院コースのあるものが Facultad)と12の研究所(Instituto, 自然科学系8, 人文・社会科学系4)が置かれているが、大学全体の機構については『アジア経済』第7巻第6号(ラテン・アメリカ特集号)に中川和彦氏の紹介があるのでここでは繰り返さない。

### I 歴 史

この研究所は1930年に設立された。設立の趣旨は、メキシコの社会の現実および当面する重要な社会問題を中心に、その他一般の社会学上の諸問題を調査研究することである。その方法は純粋な思弁や抽象によるものではなく実態の把握に基づいたものであり、研究の方向は当該の社会問題の解決へ向かってなんらかの貢献をすることをめざすものであることをうたっている。当初の研究所の機構は、会長(presidente)、理事(director)4人、秘書(secretario)1人と7人の評議員(consejero)からなる評議会がおかれ、その下に研究員(investigador)が配属された。会長は学長が兼任し、理事には人類学者アルフィンソ・カソ(Alfonso Caso)、経済学者ナルシソ・バソルス(Narciso Bassols)等が就いたが理事は3カ月交代の名譽職的な存在で、秘書が実質的に研究所の指揮、運営の任にあつた。秘書には人類学者オトン・デ・メンディサバル(Miguel Othón de Mendizábal)が就いた。39年に組織の改正があり、それまでの名譽職的な4人の理事の制度を廃止して1人の常任理事=所長(director)をおき、法社会学者メンディエタ・イ・ヌーニェス博士(Dr. Lucio Mendieta y Nuñez)が初代所長の地位に就



正面が人文科学館、左が中央図書館

いた。メンディエタ・イ・ヌーニェス博士は土地問題、インディオ問題の専門家で *El Problema Agrario de México*(メキシコの土地問題)、(*El Problema Indígena de México*)メキシコのインディオ問題等の著書がある。現在の所長ゴンサレス・カサノバ博士(Dr. Pablo González Casanova)は前政治社会学部長で二代めの所長である。同博士には *Democracia en México*(メキシコにおけるデモクラシー)、*Las Categorias del Desarrollo Económico y la Investigación en Ciencias Sociales*(経済発展の諸範疇と社会科学の研究)等の著書がある。

これまでに研究所が行なった調査研究活動は、大学問題、インディオ問題、土地問題の三つの焦点がしばられる。なかでもインディオ問題と土地問題はメキシコ社会の当面する基本的な問題としてとくに重点的に取り上げてきた。その成果は、インディオ問題に関しては特定のインディオ諸族に関するいくつかのモノグラフ、メキシコ全土の民族分布図等に表わされている。土地問題に関しては土地改革の成果を認識することを目的としてエヒード(土地改革によってつくられた土地共有村)の実態を、とくにその社会経済的側面に焦点をおいて調査した。具体的にはユネスコの財政的援助を得て行なった「三つのエヒード地域社会に及ぼした土地改革の社会的影響」の調査、メキシコ銀行と提携して行なったタマウリパス州の183のエヒードの調査等があり、いずれも報告書が出版されている。

## 研究機関紹介

その他の研究所の活動の主たるものは、メキシコ社会学協会 (Asociación Mexicana de Sociología) との共同主催で毎年全国社会学会を開催すること、およびその成果をまとめた *Estudios Sociológicos* シリーズの発行。機関誌 *Revista Mexicana de Sociología* (1939年創刊、季刊) の発行。その他研究成果の発表および広報活動である。

### II 機 構

研究所の機構は所長 (director)、秘書 (secretario) のもとに三つの部門に分かれている。すなわち行政事務の部門、資料出版関係の部門、調査研究部門の三つである。行政事務部門にはタイピスト兼速記者、経理、翻訳、写真、文書等の各担当事務員が15名常勤している。資料出版関係の部門は、(1)図書資料関係、(2)情報処理、計算、分析関係、(3)出版の三つのセクションに分かれている。(1)は図書、雑誌その他資料の収集と管理、閲覧の事務を行なう。ここでは中央図書館の受け入れた社会学関係の書籍を点検して研究所の調査研究活動に必要なもののみを残し、他は中央図書館あるいは、国立新聞雑誌保管所 (Hemeroteca Nacional) へ送る。現在研究所の蔵書数は図書、雑誌を含めて約5000冊である。他機関との雑誌や出版物の交換の手続きもここで行なう。(2)は主として実態調査で得た調査票その他情報の整理、およびそれらをもとにした計算、分析の作業を行なう。(3)は大学出版局を通じて機関誌 *Revista Mexicana de Sociología* の発行および研究所の調査研究報告書の逐次発行を行なう。研究所の研究員は少なくとも年に論文1編、書評3編を機関誌に執筆する義務がある。以上の三つのセクションはそれぞれ研究員1名がチーフとなり、その下に図書資料関係1名、出版関係1名の事務職員が、(2)に関しては6名の技術補助員 (auxiliar técnico) が働いている。

調査研究部門は所長、主任研究員 (investigador titular) 2名、準研究員 (investigador adjunto) 5名、補助研究員 (investigador auxiliar) 3名がそのメンバーで、その他に非常勤の補助研究員が2名いる。各研究プロジェクトごとにグループを構成している。各グループは所長、主任研究員、準研究員が中心となり、補助研究員その他数名の助手あるいは技術補助員を使って調査研究活動を行なう。研究員の専門は広い意味の社会学が中心であるが、その中でも政治過程、法社会学、農村社会学、人口学、言語学をそれぞれ専攻する者があり、また研究所外から人類学、地理学、生態学、心理学、統計学等の

専門家の協力を得る。研究所は学部とは独立の機関だが、政治社会学部 (Escuela Nacional de Ciencias Políticas y Sociales) の開発研究センター (Centro de Estudios de Desarrollo) およびラテン・アメリカ研究センター (Centro de Estudios Latinoamericanos) とは密接な提携関係にあり、スタッフの交換の他、同学部の学生を研究所のプロジェクトに研修生として参加させることがある。また給費生 (becario) の制度があり、主として同学部の学生および卒業生を対象としている。給費生は原則として2年以内特定のプロジェクトに参加し、研究所のスタッフの候補生として研鑽する。現在研究所には5名の給費生がいる、研究所の所長および主任研究員は教授格、準研究員は助教授格として政治社会学部で講義を受け持っている。

### III 調査研究活動

研究所の調査研究活動は、もちろん基礎的、理論的研究もその中に不可分に含まれているが、大部分がいわゆる「応用社会学」というべき分野に属するものである。各研究員は研究プロジェクトごとにグループを作って共同研究を行なっている。共同研究はインター・ディシプリナリーな性格を有するものであるから、当然前述のように諸分野の専門家の協力を要請する。各研究グループは所長、主任研究員あるいは準研究員のいずれかが責任者となり、それに補助研究員、技術補助員等がつく。また研究所外の専門家も随時これに参加する。現在進行中の研究プロジェクトおよびその責任者は以下のとおりである。

(1) 開発計画のための社会的政治的基礎、責任者は所長ゴンサレス・カサノバ博士で、これには政治社会学部の人類学者ポサス教授 (Prof. Ricardo Pozas Arciniega) が参加している。

(2) メキシコのインディオ住民のスペイン語化、責任者ウリベ・ピリェーガス (Prof. Oscar Uribe Villegas) 準研究員、これに歴史研究所のswadesh博士 (Dr. Morris Swadesh) が協力している。

(3) 人口の国内移動、出生率および労働人口、責任者ベニテス・センテーノ (Lic. (C) Raúl Benítez Zenteno) 準研究員、このプロジェクトはメキシコ銀行 (Banco de México) と協同行なっている。

(4) 連邦行政単位の開発

(5) 農業地域社会の開発 (4)、(5) いずれも責任者はマルティネス・リオス (Lic. Jorge Martínez Ríos) 準研究

員、(4)に関しては国連食料農業機構(FAO)との協同で、オアハカ州の開発のための調査を行なっている。

(6)ラテン・アメリカ諸国の構造と発展、責任者は所長、モンテフォルテ・トレド(Lic. Mario Monteforte Toledo)主任研究員がこれに参加している。

(7)社会科学上の組織的調査研究に関する国の計画、これは所長、各プロジェクトの責任者および秘書で構成する研究計画の立案、調整のための委員会である。これとは別に各研究グループの責任者と研究協力者は月1回全体会議を開いて研究の進捗状況等につき報告を行なう。

(注) Lic. (Licenciado 略)は日本の旧制学士(文科系)に相当する称号。

以上の研究グループのいずれにも属さないが、前所長で現在研究所の顧問(consejero)兼主任研究員であるメンディエタ・イ・ヌーニェス博士は従来どおり土地問題の研究を続けており、モンテフォルテ・トレド主任研究員は上記の(6)のプロジェクトの他に個人研究としてラテン・アメリカの政党に関する研究をすすめている。また補助研究員のソリス・キロガ博士(Dr. Héctor Solís Quiroga)も個人研究として青少年問題の研究を行なっている。

研究所の調査研究活動の成果は、すでに多くの出版物として世に現われているが、そのいくつかを以下にあげる。

Roberto Agramonte, *Estudios de Sociología Contemporánea* (現代社会学の研究)

Raúl Benítez Zenteno, *Análisis Demográfico de México* (メキシコの人口分析)

L. L. Bernard, *Principales Formas de Integración Social* (社会的統合の主要な形態)

Miguel Bueno, *Estudios Sobre la Universidad* (大学に関する研究)

Roberto de la Cerda Silva, *El Movimiento Obrero en México* (メキシコの労働運動)

Roberto de la Cerda Silva, *Etnografía de México* (メキシコの民族誌)

Manuel Dieguez Junior, *Introducción a la Sociología Regional* (地域社会学入門)

Pablo González Casanova, *Las Categorías del Desarrollo Económico y la Investigación en Ciencias Sociales* (経済発展の諸範疇と社会科学の研究)

Instituto de Investigaciones Sociales, *Estudios Sociológicos* シリーズ, 1950年の第1回全国社会学会会議

録から65年の第15回学会の *Sociología de la Reforma Agraria* (土地改革の社会学)までが発行されている。

Instituto de Investigaciones Sociales, *Primer Censo Nacional Universitario* (第一回全国大学センサス)

Instituto de Investigaciones Sociales, *Sociología de la Estratificación y Movilidades Sociales* (階層化と社会的移動の社会学)

Instituto de Investigaciones Sociales, *Los Tarascos* (タラスコ族)

Instituto de Investigaciones Sociales, *Los Zapotecos* (サポテカ族)

Roberto Mac-Lean y Estenos, *Status Socio-Cultural de los Indios de México* (メキシコのインディオの社会的文化的状態)

Jorge Martínez Rios, *Bibliografía Sociológica y Antropológica del Estado de Oaxaca* (オアハカ州の社会学および人類学に関する書誌)

Lucio Mendieta y Nuñez, *El Problema Agrario de México* (メキシコの土地問題)

Lucio Mendieta y Nuñez, *El Sistema Agrario Constitucional* (憲法に表われた土地体系)

Lucio Mendieta y Nuñez ed., *Efectos Sociales de la Reforma Agraria en Tres Comunidades Ejidales de la República Mexicana* (メキシコの三つのエヒーロ地域社会に及ぼした土地改革の社会的影響)

Mario Monteforte Toledo, *Partidos Políticos de Iberoamerica* (イベロ・アメリカの政党)

Héctor Solís Quiroga, *El Ser y el Deber Ser de la Universidad* (大学の現実と理想)

Oscar Uribe Villegas, *Técnicas Estadísticas para Investigadores Sociales* (社会学研究者のための統計技術)

(調査研究部 石井 章)